



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月30日

上場会社名 株式会社サガミチェーン 上場取引所 東・名
 コード番号 9900 URL http://www.sagami.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 敏行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 長屋 昇 (TEL) 052(771)2126
 四半期報告書提出予定日 平成24年6月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年1月21日～平成24年4月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,489	△3.4	△71	—	△67	—	△127	—
24年1月期第1四半期	4,645	△0.9	△192	—	△198	—	△232	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △72百万円(—%) 24年1月期第1四半期 △263百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△5.21	—
24年1月期第1四半期	△9.52	—

※ 当連結会計年度より、会計方針を一部変更しております。詳細は3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。また、「会計上の変更及び誤謬の修正の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号)に基づき、前年同期については各財務諸表数値に対して遡及処理を行っております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	14,713	9,247	62.9
24年1月期	15,074	9,320	61.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 9,247百万円 24年1月期 9,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、決算期を1月20日から3月31日に変更しております。このため、決算期変更の経過期間となる平成25年3月期は14ヶ月11日間の変則決算となります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年1月21日～平成25年3月31日)

(%表示は、第4四半期(累計)は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,200	△3.5	0	—	△10	—	△50	—	△2.05
第4四半期(累計)	18,800	△3.9	310	—	300	—	200	—	8.20
通期	21,600	—	280	—	270	—	160	—	6.56

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成25年3月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については14ヶ月11日間(平成24年1月21日～平成25年3月31日)の業績予想を記載しております。このため、通期の対前年増減率は記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	24,972,784株	24年1月期	24,972,784株
25年3月期1Q	591,418株	24年1月期	591,418株
25年3月期1Q	24,381,366株	24年1月期1Q	24,383,096株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前期後半よりのサプライチェーンの回復・米国経済の回復・復興需要などにより、緩やかではありますが景気は回復傾向にあります。しかしながら、依然として欧州を中心とした海外経済・為替・燃料価格などは不安定であり、景気の先行き不透明さは残っております。

外食産業につきましても、景気回復と連動する形で緩やかに外食支出は回復してきておりますが、お客様の低価格志向の定着、中食需要の高まりなど小売業を巻き込んだ食市場の争奪戦となっております。

このような環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座を全社で堅持しながら、店舗の改革を進めると共に、期首より①「グループ経営強化」、②「科学的経営の推進」、③「研修制度の拡充」を柱に取り組んでまいりました。

当社主力業態であり、「サガミ」の店名で親しまれております和食麺類部門につきましては、前期に引き続き値引き券配布の抑制をする一方、全店販売促進企画といたしまして「冬のあったかみそ煮込フェア」、「春の大感謝祭」、中部エリアで8日間「こだわりCM」を実施いたしました。これにより既存店客数は、前年同期比で2.5%減となりましたが、客単価が前年同期比5.2%増となったため、既存店売上高は、前年同期比2.7%増となりました。

店舗関係では、業態転換のため1店舗（河内天美店）を閉鎖いたしました。

セルフサービス方式のどんどん庵部門につきましては、「どんどん祭り」1回、フェア2回（「カレーうどんフェア」「体にやさしい味わいフェア」）をおこないました。

店舗関係では、不採算のため11店舗（植田一本松店、丹後通店、津島唐臼店、三河一色店、あかつき金山店、日比野市場前店、各務原市役所前店、蒲郡店、三好インター店、春日井追進町店、中川丸米店）、業態転換のため1店舗（平子橋店）を閉鎖いたしました。

その他の部門では、製麺大学で「初春の大学祭」、あいそ家で「得するクーポン&生ビールフェア」を実施いたしました。

店舗関係では、「丸源ラーメン河内天美店」及び「あいそ家平子橋店」の他部門からの業態転換に加え、中国上海に「延安西路店」、和風ビュッフェの新業態として「もんぺとくわ江南店」、フランチャイジーとして「かつや愛知日進店」を新規出店いたしました。一方で、3店舗（あいそ家みよし店、あいそ家城山店、たい夢東浦店）を閉鎖いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,489百万円（前年同期比3.4%減）、営業損失は71百万円（前年同期は192百万円の営業損失）、経常損失は67百万円（前年同期は198百万円の経常損失）となりました。また固定資産除却損13百万円、店舗閉鎖損失8百万円など、特別損失37百万円の発生等により、四半期純損失は127百万円（前年同期は232百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、14,713百万円と前連結会計年度末比360百万円の減少となりました。流動資産は前連結会計年度末比416百万円減少し3,174百万円、固定資産は56百万円増加し11,538百万円、流動負債は前期連結会計年度末比130万円減少し3,041百万円、固定負債は156百万円減少し2,424百万円、純資産は72百万円減少し9,247百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月1日に発表いたしました連結業績予想から修正はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

配送費の会計処理

従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました工場及び配送センターから店舗への配送費については、売上との直接的な対応関係を明確にし、売上総利益をより適正に表示するため、当第1四半期連結会計期間より売上原価に計上しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については、遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,097,275	2,714,634
受取手形及び売掛金	85,679	72,305
有価証券	50,159	50,240
商品及び製品	62,909	84,354
原材料及び貯蔵品	142,154	129,254
その他	153,727	124,132
流動資産合計	3,591,906	3,174,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,873,036	1,895,176
機械装置及び運搬具(純額)	135,108	141,267
土地	6,195,652	6,169,675
その他(純額)	87,381	104,050
有形固定資産合計	8,291,179	8,310,170
無形固定資産		
	152,021	146,320
投資その他の資産		
投資有価証券	1,027,079	1,069,064
差入保証金	1,627,797	1,606,801
その他	418,337	440,522
貸倒引当金	△34,047	△34,047
投資その他の資産合計	3,039,167	3,082,341
固定資産合計	11,482,368	11,538,832
資産合計	15,074,274	14,713,754
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	544,636	490,851
短期借入金	410,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	566,100	566,100
未払金	1,134,910	1,039,178
未払法人税等	103,851	38,425
賞与引当金	28,964	109,408
店舗閉鎖損失引当金	76,006	55,526
資産除去債務	18,355	—
その他	289,138	311,595
流動負債合計	3,171,963	3,041,085
固定負債		
長期借入金	1,949,115	1,807,590
長期未払金	144,928	135,180

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月20日)
退職給付引当金	7,390	7,263
資産除去債務	321,797	325,391
その他	158,486	149,524
固定負債合計	2,581,718	2,424,948
負債合計	5,753,681	5,466,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,303,521	6,303,521
資本剰余金	7,256,905	3,405,791
利益剰余金	△3,484,977	239,059
自己株式	△567,318	△567,318
株主資本合計	9,508,130	9,381,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△152,710	△115,254
為替換算調整勘定	△34,827	△18,080
その他の包括利益累計額合計	△187,537	△133,334
純資産合計	9,320,592	9,247,719
負債純資産合計	15,074,274	14,713,754

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年4月20日)
売上高	4,645,234	4,489,254
売上原価	1,470,687	1,414,036
売上総利益	3,174,546	3,075,218
販売費及び一般管理費	3,367,482	3,146,365
営業損失(△)	△192,935	△71,147
営業外収益		
受取利息	1,725	2,135
受取配当金	1,390	1,630
受取保険金	1,422	8,583
雑収入	4,911	5,068
営業外収益合計	9,448	17,418
営業外費用		
支払利息	12,467	11,494
雑損失	2,585	2,282
営業外費用合計	15,052	13,776
経常損失(△)	△198,539	△67,505
特別利益		
固定資産売却益	266	423
特別利益合計	266	423
特別損失		
固定資産売却損	—	1,215
固定資産除却損	3,282	13,026
減損損失	3,469	2,395
店舗閉鎖損失	1,067	8,939
保険解約損	2,057	5,242
その他	—	6,997
特別損失合計	9,877	37,817
税金等調整前四半期純損失(△)	△208,149	△104,899
法人税、住民税及び事業税	23,898	21,166
法人税等調整額	173	1,009
法人税等合計	24,072	22,176
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△232,221	△127,076
少数株主損失(△)	△87	—
四半期純損失(△)	△232,134	△127,076

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月21日 至平成23年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年4月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△232,221	△127,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,014	37,456
為替換算調整勘定	5,064	16,746
その他の包括利益合計	△30,949	54,202
四半期包括利益	△263,171	△72,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△263,418	△72,873
少数株主に係る四半期包括利益	246	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年4月19日開催の第42期定時株主総会において、「第1号議案 資本準備金の減少並びに剰余金の処分の件」が可決され、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金7,255,780千円のうち3,849,988千円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、上記振り替え後のその他資本剰余金3,851,113千円の全部の金額及び別途積立金1,176,500千円並びに固定資産圧縮積立金14,859千円の全部の金額を減少させ繰越利益剰余金に振り替えております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。